

## 地震をはじめとする自然災害への対応

近年、地震をはじめとする様々な自然災害が発生しています。園児の安全を守るため、教職員自身がその対応を理解するとともに、園児への避難訓練の事前・事後指導などで活用ください。

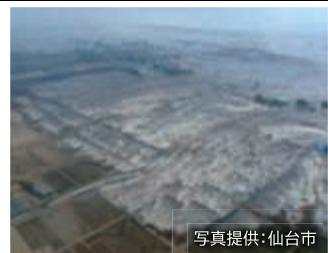
### 【地震】

- 周囲を確認し、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」安全な場所で頭部を保護し、身の安全を確保しましょう。
- 大きな地震の後には余震に注意して行動しましょう。
- 地震の後に土砂崩れや土石流などが発生することがあるので、がけや川、沢などには近づかないようにしましょう。



### 【津波】

- 地震の後は津波が来る可能性があるので、海や川には近づかないようにしましょう。
- 海や川には近づかず、津波警報や津波注意報が解除され、津波が来ないことを確認できるまで避難を継続しましょう。
- 津波は30cmの高さでも被害が生じ、体の小さな園児は流れてしましてしまうことがあります。早めに避難行動をとるようにしましょう。



### 【大雨】

- 大雨による洪水や土砂災害発生の可能性もあるので、川やがけなどから離れましょう。
- 避難勧告や避難指示が出た場合には、すみやかに避難しましょう。夜間に大雨が予想される場合には、暗くなる前に避難しましょう。
- 豪雨などで避難所へ避難できない場合には、建物の2階など少しでも安全な場所に避難しましょう。



### 【落雷】

- 雷鳴が聞こえたら、電柱や木から離れ、建物や自動車の中に避難しましょう。
- 遠くの方で雷が聞こえていても、頭の上に雷雲があるときは落雷する可能性があるので、すみやかに避難行動をとりましょう。
- 室内では電気器具や壁から1m以上離れましょう。



### 【竜巻】

- 竜巻が発生したらすぐに身を守るための行動をとりましょう。
- 屋内では、窓やカーテン、雨戸などを閉め、窓から離れ、家の中心に近い窓のない部屋でテーブルの下などにもぐって頭部を守りましょう。
- 屋外では、頑丈な建物に避難しましょう。近くに避難できる建物がない場合は、側溝やくぼみに身を伏せて両腕で頭と首を守りましょう。



### 【噴火】

- 気象庁が発表する噴火予報や噴火警報に注意しましょう。
- 避難勧告や避難指示が出た場合には、指示に従ってすみやかに避難しましょう。
- 外に出るときには、頭を守るための帽子やヘルメット、目を守るためにめがねやゴーグル、灰が口に入らないためのマスク、手を守るための手袋などを着用しましょう。



あらかじめ、ハザードマップなどで危険箇所や避難経路、避難場所を確認しておきましょう。また、命を守るためにはテレビやラジオ、インターネットなどで発表される気象庁からの防災気象情報や自治体が発令する避難情報を収集することが大切です。情報を入手するための手段を複数確保しておきましょう。

### 東日本大震災の概要(宮城県)(出典:平成23年3月 気象庁「地震・火山月報」)

- 発生年月日及び時刻:2011(平成23)年3月11日(金)午後2時46分
- マグニチュード及び最高震度:マグニチュード9.0、最高震度7(栗原市)
- 津波の高さ(浸水高):19.6m以上(南三陸町志津川) (出典:宮城県土木部)
- 宮城県の被災状況(平成27年11月30日現在 宮城県総務部危機対策課)
  - 犠牲者数(死者・行方不明者):死者10,549人、行方不明者1,239人
  - 負傷者数:4,145人
  - 建物被害(全壊・半壊):全壊82,999棟、半壊155,129棟、一部損壊224,195棟

